NIE実践報告

1．タイトル：**ニュース（新聞記事）を発信しよう**

2．学校名

滋賀県高島市立今津北小学校

3．実践者名（代表者名）

山田美加

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　20人

6．単元（本時の学習課題）名

目的に応じた伝え方を考えよう　『1年生に気になる記事を紹介しようpart Ⅱ』

7．目標(狙い)

ニュースを伝える送り手の願いや情報発信の方法・工夫をとらえ、自分たちも工夫して分かりやすくニュースを伝えることができる。

8．評価の視点

ニュースを探して伝えることに関心を持ち、伝えたいことの中心をはっきりさせ、分かりやすくニュースを発信することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「ニュース番組作りの現場から」（教科書教材・光村図書）4時間
「1年生に気になる記事を紹介しようpart Ⅱ」9時間　　合計13時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「ニュース番組作りの現場から」を読んで、初めて知ったことや興味を持ったことを交流する。（1時間）
②ニュース番組の特集ができまるまでの様子や、番組作りの過程で大事な点や気をつけることを読み取る。
③自分の気になる記事について客観的事実を読み解き、話の組み立てを工夫しながら紹介する。

（留意点）

- **「何を(話題)」「なんのために(伝える目的)」伝えたいのか、どのように伝えるのかという具体的な目的意識をもたせる。**
- **新聞記事を原稿に書き起こしたり、さらに取材するなど、ニュースを発信するための編集活動など教科書教材を振り返りながら、その方法を支援する。**
- **発信側の意図と受信側の感想を交流し、『情報』や『メディア』について考えさせたい。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「気になる記事を紹介しようpart Ⅰ」という活動を経て、『1年生に…　』と限定した課題を提示した所、様々な記事から読み手・聞き手にも興味のある記事を選ぶ姿が見られた。新聞を読むという活動を続けてきた結果、書かれている内容を読み解くだけでなく書き手の思いや願いを考えて発信することができた。

12．成果と課題

「新聞が教室にある」という恵まれた環境から、子ども達は朝読書で新聞を読むようになり、新聞の切抜きをノートにはりその要旨や自分の考えを書く自主学習が増えた。当初は4コマ漫画やスポーツニュースが中心だったが、総合的な学習で行った福祉の話題・環境の話題、地域のニュースや投稿記事など興味の範囲も広がっていった。また、発信する活動を行うことでより深く、客観的事実を読み解く力がついてきたように思う。今後もより広い「社会」に興味を持ち、より客観的に、立体的に見聞きすることができるような活動を続けていきたい。